2026 年 10 月版
重要情報シート

販売会社：株式会社東京スター銀行

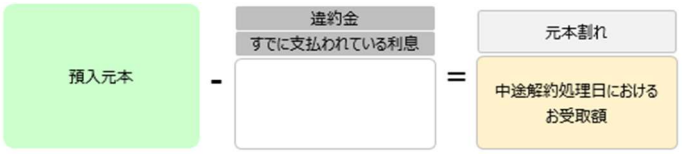
この資料は、この商品の全ての事項を記載したものではありません。ご検討、お申込みに際しては、「契約締結前交付書面」を必ずお読みください。

１．商品等の内容

金融商品の名称・種類	「右肩上がり外貨定期」〈仕組み預金〉満期日繰上特約付外貨定期預金 ・本預金は外貨定期預金に満期日繰上特約が付加された外貨仕組み預金です。
組成会社	該当なし
販売委託元	
金融商品の目的・機能	• 本預金は、当行の判断により満期日を繰り上げることができる特約（満期日繰上特約）を付加することで、当行の通常のスターワン外貨定期預金よりも高い利回りを目指すことを目的としています。 • 本預金は、満期日までに 1 回または 2 回金利が上がる外貨仕組み預金です。 • 当初満期日が繰上満期日に繰り上がった場合、払い戻された資金をその時点における市場金利の下で運用したとしても、より低利の運用となる可能性があります。 • 反対に、満期日が繰り上げられなかった場合、繰上満期日以降の本預金の金利は市場金利を下回ることになり、結果的に不利な運用となる可能性が高くなります。 • 本預金のリスクの詳細は、「2.リスク」に記載いたします。 • 本預金のイメージ図については、商品説明書（契約締結前交付書面）の＜本預金のイメージ図＞・＜繰上満期の判定イメージ図＞にて、ご確認いただけます。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	• 当初預入期間（当初満期日まで）解約しないことを前提に、通常の外貨定期預金よりも高い利回りを目指すお客さま。 • 一般的な外貨定期預金と比較した場合の本預金の目的・機能をご理解いただけるお客さま。 • 満期まで本預金を保有いただけるお客さま。 • 為替変動による元本割れリスクを許容でき、且つ、中途解約の必要のない余裕資金でお預け入れいただけるお客さま。 なお、為替変動による元本割れリスク（本預金の為替相場の変動による影響）については「2．リスク」をご確認ください。 • 外貨定期預金に満期日繰上特約が組み込まれた商品のため、本資料や契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品性やリスクについてご理解のうえでご検討ください。
パッケージ化の有無	本預金は、外貨定期預金と繰上満期特約を組み合わせた商品です。 繰上満期特約を個別の金融商品として購入することはできません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

次のようなご質問があれば、お問い合わせください	①あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。 ②この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。

2．リスク　（本商品は、元本割れの可能性があり、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	【為替変動リスクについて】 • 本預金には、為替変動リスクがあります。為替相場の変動により、お受け取りの外貨元利金を円換算すると、当初の外貨預金作成時の払込円貨額を下回る（円ベースで元本割れとなる）リスクがあります。 【中途解約について】 • 本預金は原則、中途解約はできません。また、預り口としてお預りする期間も中途解約ができません。例外的に当行がやむを得ないと認めて中途解約に応じる場合、違約金が発生し元本割れとなるリスクがあります。 • 中途解約時の想定損失額の詳細は、商品説明書（契約締結前交付書面）により説明させていただきますので、必ずご確認ください。  【預金保険について】 • 本預金は預金保険の対象外です。 ※詳しくは商品説明書（契約締結前交付書面）をご参照ください。

※ 損失が生じるリスクの内容の詳細は、商品説明書（契約締結前交付書面）の［商品の概要］に記載しています。

次のようなご質問があれば、お問い合わせください	③上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。 ④相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3．費用　（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用 （販売手数料など）	• 購入時に預入金額とは別にお支払いいただく費用はございません。 • 販売役務の対価相当額（販売に係る諸経費やアフターフォローの対価等を含む）およびデリバティブ取引に係る市場取引関係費として以下の費用が発生します。 費用一覧　（年率表示） ※ 費用は本定期預入時に確定するため、事前に正確な料率を表示できません。 ※ 上記料率を上回るまたは下回る場合があります。 ※ 市場環境等により（市場金利の影響等で）、一部期間あるいは全ての期間において、募集を行わない場合があります。
継続的に支払う費用 （継続手数料）	なし
運用成果に応じた費用 （成功報酬など）	なし

	米ドル 3 年タイプ	米ドル 5 年タイプ	オーストラリアドル 3 年タイプ	ニュージーランドドル 3 年タイプ
販売手数料	0.36%~1.69%	0.53%~1.33%	0.29%~1.63%	0.03%~1.36%
市場取引関係費	0.10%~0.60%	0.10%~0.60%	0.10%~0.60%	0.10%~0.60%
費用合計	0.46%~2.29%	0.63%~1.93%	0.39%~2.23%	0.13%~1.96%

※ 上記以外に生ずる費用は、商品説明書（契約締結前交付書面）の［商品の概要］に記載しています。

次のようなご質問があれば、お問い合わせください	⑤私がこの商品に○○万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。 ⑥費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

4．換金･解約の条件（本商品を換金･解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

- 本預金の当初預入期間は 3 年または 5 年です。ただし、当初満期日から繰上満期日に繰り上がる場合があります。
- 本預金は、原則、中途解約はできません。また、預り口としてお預りする期間も中途解約ができません。
  例外的に当行がやむを得ないと認めて中途解約に応じる場合、すでに支払われている利息を元本から差し引きます。
  また、中途解約にともない発生する解約日から満期日までの本預金の再構築額、および解約にともなう諸費用を当行所定の計算により算出し、その算出額を違約金として預入元本から差し引きます。
  この結果として元本割れが生じます。

※詳細は、商品説明書（契約締結前交付書面）の［商品の概要］に記載しています。

次のようなご質問があれば、お問い合わせください	⑦私がこの商品を換金･解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5．当行の利益とお客さまの利益が反する可能性

- 本預金は、お客さまと当行が相対で行う取引です。
- 当行の営業職員に対する業績評価上、本預金の販売が他の商品の販売より高く評価されることはありません。
- 利益相反の内容と対処方針については、東京スター銀行の「フィデューシャリー･デューティーに関する取り組み方針」をご参照ください。

  https://www.tokyostarbank.co.jp/fiduciary_duty/

次のようなご質問があれば、お問い合わせください	⑧あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

6．租税の概要（NISA、iDeCo の対象か否かもご確認ください）

利息	源泉分離課税 20.315%（国税 15.315%、地方税 5%）として課税されます。
マル優	対象外です。

為替差益	雑所得として確定申告による総合課税の対象です。
為替差損	他の黒字の雑所得から控除することができます。

※ NISA、iDeco の対象とはなりません。

※ 詳細は商品説明書（契約締結前交付書面）の［商品の概要］に記載しています。

7．その他参考情報（契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください）

- 当行が作成した商品説明書（契約締結前交付書面）

  https://www.tokyostarbank.co.jp/products/foreign_deposit/structure/soaring_fx/pdf/soaring_fx_outline.pdf

  ※PDF 形式で掲載しています。

  契約締結にあたっての注意事項等をまとめた商品説明書（契約締結前交付書面）については、ご希望があれば書面でお渡しいたします。